長野県高校生探Ｑフェスティバル 2025 実施報告

学びの改革支援課

■長野県高校生探Ｑフェスティバル 2025

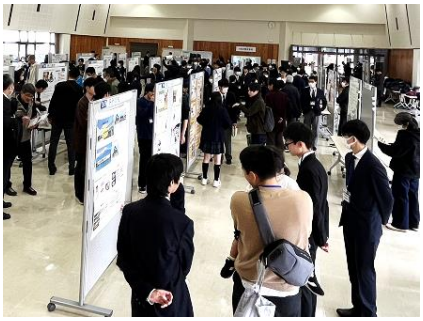
12 月 14 日（日）に松本市勤労者福祉センターと信州大学理学部キャンパスを会場に、「長野県高校生探Ｑフェスティバル 2025」を開催しました。このイベントは、「ここに来れば、長野県内の探究の全てが分かる『高校生の探究見本市』」をコンセプトに、長野県内の高校生が集まり、各校の特色ある教育活動を発表する合同発表会で、2023 年度からスタートしました。このイベントの中では、専門・総合学科等の発表会「産業教育 MIRAI フェア」も同時開催しています。

県内 42 校から生徒・教員が一堂に会し、探究活動の成果報告や国際交流の体験報告、地元食材を生かして作った食品の販売、全国総合文化祭自然科学部門の県予選会などを行い、保護者、中学生、教育関係者などを含め約 630 名の参加がありました。

（１）産業教育 MIRAI フェア	県内専門学科（農業科、工業科、商業科、家庭科、福祉科）、総合学科高校等の成果発表、展示販売など
（２）国際・グローバル系発表	信州グローバルカフェ(WWL) 信州つばさプロジェクト(高校生海外留学支援事業)留学フェア
（３）各校の探究活動・特色ある学びの発表	日頃の探究活動、特色ある学びについての発表
（４）課題研究発表会	県内自然科学系クラブ、理数科等設置校、SSH 指定校の発表

各分科会では、参加者同士で活発に意見交流を行っていました。ポスターセッションの発表者からは、「緊張しましたが、皆さんに温かく聞いていただけて嬉しかった」、「発表者同士で話をすることができ、とても刺激を受けた」との声が寄せられました。

自然科学研究発表会では、地道な研究成果が多く発表されました。審査の結果、下記の研究は、令和８年７月 26 日～８月１日に行われる「あきた総文祭 2026」へ県代表として出場します。



賞	学校名	研究テーマ
総合最優秀賞（生物）	大町岳陽	長野県大町市の水田における光合成細菌 Rhodopseudomonas 属に関する研究
最優秀賞（物理）	諏訪清陵	災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発
最優秀賞（化学）	諏訪清陵	フラックス法を用いたエメラルド合成における生成過程の解明と考察
最優秀賞（地学）	飯山	奥信濃の土や石から釉薬を作ろう
優秀賞（生物）	諏訪清陵	Hydra vulgaris の姿勢と明暗周期の関係